

新焼却施設の建設工事に着手します

昨年2月から整備を進めていた、新焼却施設の敷地造成工事を終え、引き続き、6月から本体建設工事に着手し、令和4年春の供用開始に向けて、整備を進めます。

工事期間中、工事車両が出入りするため、備北クリーンセンターへごみを搬入する際は、誘導員の指示に従って通行をお願いいたします。

新焼却施設の概要

●施設規模

34トン／日
(17トン／16時間)×2炉

●工事内容

- (1) 機械設備工事
焼却炉本体
電気計装設備・配管ダクト
- (2) 建築工事
- (3) 付帯建設工事
洗車棟
計量棟
- (4) 外構工事



▲新焼却施設 完成予想図



▲敷地造成写真

環境政策課リサイクルプラザ係
☎0824・72・1398

可燃ごみの分別と減量化にご協力ください

■可燃ごみ処理の状況

- 平成25年度
年間排出量 1万347トン
1人当たり年間排出量 約268キロ
- 平成30年度
年間排出量 9862トン(災害ごみ除く)
1人当たり年間排出量 約280キロ

■1人当たりの排出量が増加しています

○排出された可燃ごみの中に、資源化できる衣類や、新聞、雑誌などの紙類が多く混入している。

○汚れている容器包装プラスチックなどが可燃ごみとして排出されている。

■ごみを減らすために

衣類や紙類、プラスチック類は正しく分別されることで資源となります。可燃ごみとして排出するのではなく、まだ使用可能な衣類は「古着」、分別可能な紙類は種類ごとに分けましょう。容器包装プラスチック類はきれいに洗い、可燃ごみではなく、容器包装プラスチックごみとして分けて出しましょう。

資源の有効利用とごみの減量化にご協力ください。